

企画県土警察常任委員会資料

(平成23年3月9日)

- 1 総合評価競争入札における地域貢献度の運用について【県土総務課】……………1ページ
- 2 予定価格の事後公表の試行結果について【県土総務課】……………2ページ
- 3 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について【県土総務課】……………3ページ
- 4 鳥取県公共事業評価委員会の答申について【技術企画課】……………4ページ
- 5 殿ダム建設事業における試験湛水について【河川課】……………6ページ
- 6 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路建設課、河川課、治山砂防課】……………7ページ

県土整備部

総合評価競争入札における地域貢献度の運用について

平成23年3月9日

県 土 総 務 課

総合評価競争入札において、平成20年4月から災害時の緊急対応と除雪業務の受託について地域貢献として加点評価していますが、制度趣旨を一層反映するため、運用を一部見直します。

なお、このことは、2月3日の鳥取県建設工事等入札・契約審議会です承されました。

1 見直し内容

(1) 災害時の緊急対応あるいは除雪業務の受託による地域への貢献は、要請者又は発注者が県か県以外の者であるかで異なるものではないので、市町村、国土交通省が要請又は発注する場合も加点評価の対象とする。

(2) 災害時の緊急対応には、工事だけでなく緊急応急作業等を追加し「緊急応急工事等」に改める。

[例]

- ・国・県・市町村が管理する道路・河川等の施設の機能の確保等、緊急を要する公共施設の応急復旧作業
- ・災害によって住居又はその周辺に運ばれた土石、竹木等日常生活に著しい支障を及ぼしているものの除去作業 ほか

2 参考

(1) 総合評価方式

公共工事については、公共投資が減少している中で、価格競争が激化し、著しい低価格による入札やくじ引きによる落札者の決定が増加し、技術的能力の低い建設業者が施工し、公共工事の品質の低下を招くことが懸念された。

このことから、価格だけで評価していた従来の落札方式ではなく、発注者が建設業者の技術的能力を適切に審査し、価格と品質が総合的に優れた調達を実現することを目的として総合評価方式が全国的に導入されている。

鳥取県では、平成19年8月から適用。

(2) 鳥取県総合評価競争入札【採点項目と配点について】

評価項目	入札価格点数	工事成績点数	施工能力点数								
			会社+技術者	受注額点	技術者点	企業経営点	同種工事の工事成績点	地域点	地域貢献度	CPDS研修実績	現場体制点
上限	60	20	4	2	2	4(0)	4	2(0)	1(0)	1	100(93)
下限	0	0	0	0	0	0	0	0	0	限度なし	—

* 評価点＝入札価格点数＋工事成績点数＋施工能力点数（評価点の一番高い者が落札者）

予定価格の事後公表の試行結果について

平成23年3月9日
県土総務課

1 予定価格公表の状況

- (1) 経過 平成13年から事前公表に変更
- (2) 現状 平成19年の一般競争入札の導入以降、応札額が最低制限価格付近に集中

2 試行の概要

- (1) 目的
積算能力を有する業者が、適正価格で入札できる環境を整えるための検討資料とするため
- (2) 検証内容
 - ・落札率の変化
 - ・入札参加者数の変化
 - ・入札に対する質問の状況、予定価格を探ろうとする不当な働きかけの有無など
- (3) 対象範囲
土木一般A級～D級、アスファルトA・B級、とび等一般A～C級
- (4) 期間
平成22年7月～平成23年3月
- (5) 件数
 - ・事前公表：45件（同工種・同程度の金額の工事を抽出）
 - ・事後公表：45件

3 試行結果

(1) 平成22年7月～8月8日以前に調達公告したもの（最低制限価格見直し前）

工種	土木一般A級 (4件)			アスファルトA級 (5件)			平均値 (9件)		
	事前 ①	事後 ②	差 ②-①	事前 ①	事後 ②	差 ②-①	事前 ①	事後 ②	差 ②-①
平均落札率	85.4%	87.2%	1.8%	85.5%	85.8%	0.3%	85.4%	86.4%	1.0%
平均応札者数	11.5者	7.8者	-3.7者	5.4者	4.4者	-1.0者	8.1者	5.9者	-2.2者
平均質問件数	1.8件	4.5件	2.7件	0件	0件	0件	0.8件	2.0件	1.2件
不当な働きかけの件数	—	0件	—	—	0件	—	—	0件	—

(2) 平成22年8月9日以降に調達公告したもの（最低制限価格見直し後）

工種	土木一般A級 (10件)			土木一般B級 (12件)			土木一般C級 (5件)		
	事前 ①	事後 ②	差 ②-①	事前 ①	事後 ②	差 ②-①	事前 ①	事後 ②	差 ②-①
平均落札率	91.1%	92.7%	1.6%	91.2%	92.7%	1.5%	95.8%	94.3%	-1.5%
平均応札者数	9.9者	9.5者	-0.4者	5.7者	10.1者	4.4者	3.6者	6.4者	2.8者
平均質問件数	0.4件	1.2件	0.8件	0.2件	0.4件	0.2件	0件	0件	0件
不当な働きかけの件数	—	0件	—	—	0件	—	—	0件	—

工種	土木一般D級 (1件)			アスファルトA級 (7件)			とび等一般 (1件)		
	事前 ①	事後 ②	差 ②-①	事前 ①	事後 ②	差 ②-①	事前 ①	事後 ②	差 ②-①
平均落札率	90.0%	90.9%	0.9%	94.4%	94.9%	0.5%	94.6%	91.4%	-2.8%
平均応札者数	3.0者	2.0者	-1.0者	3.9者	3.5者	-0.4者	17.0者	15.0者	-2.0者
平均質問件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
不当な働きかけの件数	—	0件	—	—	0件	—	—	0件	—

	平均値 (36件)		
	事前 ①	事後 ②	差 ②-①
平均落札率	92.6%	93.3%	0.7%
平均応札者数	6.5者	8.3者	1.8者
平均質問件数	0.2件	0.5件	0.3件
不当な働きかけの件数	—	0件	—

(3) 考察

- ・平均落札率は、一部の工種（土木一般C級、とび等一般）を除き、事後公表のほうが事前公表よりも若干上昇。
- ・平均応札者数は、全体的には減少しなかった。
- ・平均質問件数の増加は、土木一般において僅か。
- ・予定価格を探ろうとする不当な働きかけは無し。

4 今後の対応

試行を続け、業界団体等の意見も聞き、事後公表への変更の可否について引き続き検討する。

緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成23年3月9日

県土総務課

- 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費
(2月28日までに追加実施を決定した事業) 1,266千円

2 追加実施事業の内訳

(単位:千円)

事業名	H22年度における 雇用創出人数	H22年度 執行予定額	事業概要
建設工事等入札 参加資格審査事業	2名	1,266	建設工事及び測量等業務 の契約に係る入札参加資 格の審査のための非常勤 職員雇用
計	2名	1,266	

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

鳥取県公共事業評価委員会の答申について

平成23年3月9日
技術企画課
道路建設課

今年度、知事から諮問された公共事業に係る評価（再評価2件及び事前評価1件）について、鳥取県公共事業評価委員会（会長：小林一鳥取大学副学長）から、平成23年3月4日、以下のとおり答申がありました。

【答申の概要】

	事業名等	評価（継続、休止又は中止等の方針）
再 評 価 事 業	<p>① 一般国道313号倉吉道路</p> <p>倉吉市小鴨から和田にかけての市街地を結ぶ、地域高規格道路「北条湯原道路」の一部の整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費114.0億円 ・延長4.1km ・進捗率74.7% ・期間：平成17年度～27年度 <p>※事業採択後5年経過して継続中の事業</p>	<p>既に供用済みの「北条倉吉道路」や今後整備予定の「倉吉関金道路」と一体となるものであり、全体としての道路の効用等について審議・検証を行った結果、継続実施が妥当。</p>
	<p>② 一般国道181号江府道路</p> <p>江府町佐川から武庫にかけての中山間地を結ぶ、地域高規格道路「江府三次道路」の一部の整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費119.0億円 ・延長4.1km ・進捗率7% ・期間：平成17年度～29年度 <p>※事業採択後5年経過して継続中の事業</p>	<p>地域高規格道路としての効用はもとより、現道の踏切対策、線形不良区間に起因する交通事故や渋滞の解消にも一定の効果があることや、高齢化・過疎化の進行地域の定住環境整備（安全・安心）にも資することから、継続実施が妥当。</p>
事 前 評 価 事 業	<p>① 一般国道313号倉吉関金道路</p> <p>倉吉市関金町関金宿から小鴨にかけての中山間地を結ぶ、地域高規格道路「北条湯原道路」の一部の整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費123.6億円 ・延長7.0km ・期間：平成23年度～30年度 <p>※全体事業費が10億円を超える新規公共事業</p>	<p>県が示したルート案は、周辺農業への影響、遺跡・古墳等の文化財への影響、自然環境への影響等、総合的に判断して妥当な計画。</p>

【委員（10名）】

〔会長〕

小林 一（鳥取大学副学長）

〔委員〕

井上 望（税理士）

小池 淳司（鳥取大学工学部准教授）

清水 雅文（有限会社モリサキ代表取締役）

安川 敦子（NPO法人トラベルフレンズ・とっとり理事長）

〔会長代理〕

小野 達也（鳥取大学地域学部教授）

岡田 純（鳥取県生物学会会員）

五島 朋子（鳥取大学芸術文化センター准教授）

竹村 舞（とっとり花回廊スタッフ）

矢藤 益美（鳥取県デザイナー協会理事）

平成22年度
公共事業再評価・事前評価対象箇所 位置図

【再評価】①
一般国道313号改築事業(倉吉道路)

【事前評価】①
一般国道313号改築事業(倉吉関金道路)

【再評価】②
一般国道181号改築事業(江府道路)

殿ダム建設事業における試験湛水^{しけんたんすい}について

平成23年3月9日
河川課

殿ダム建設事業については、国土交通省殿ダム工事事務所により、平成23年度完成予定で進められていますが、この度、3月3日に試験湛水が開始されました。

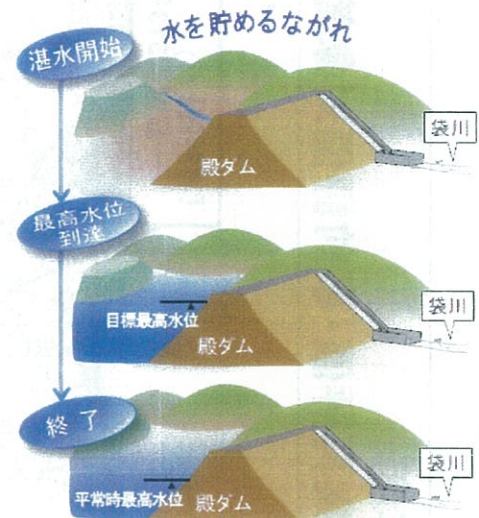
1 試験湛水^{しけんたんすい}について（殿ダム提供資料より）

殿ダムは、平成22年10月にダム堤体の盛立てを完了、12月には洪水吐きのコンクリート打設を完了しており、この度、殿ダムの基礎地盤及び貯水池周辺地山の安全を確認することを目的とした「試験湛水^{しけんたんすい}」が3月3日から約2ヶ月程度をかけて行われています。

※ 試験湛水とは

試験湛水とは、ダムの通常の管理に移行する前に、貯水位を上昇及び下降させ、ダム堤体、基礎地盤及び貯水池周辺の地山等の安全性を確認するものです。

試験湛水を開始しますと、今後の天候によりますが、平年並の流況であれば、平成23年3月下旬頃に目標最高水位に到達し、その後、徐々に水位を降下させ、平成23年4月下旬頃には、常時満水位に到達する予定です。



※ 「殿ダム試験湛水見学会」

貯水位が満水となる頃にダム頂部から湛水状況を見ることができる「殿ダム試験湛水見学会」を開催する予定です。

殿ダムのホームページで案内予定 (<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>)

2 殿ダムの概要

- ・場 所 鳥取市国府町殿地先
- ・目 的 洪水調節、水道用水、工業用水、発電
- ・型 式 ロックフィルダム
- ・堤 高 75m
- ・総貯水容量 1,240万 m^3
- ・事業期間 H3年度（建設事業着手）～H23年度（完成予定）

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

							県土整備部
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
道路建設課	国道313号(倉吉道路)橋梁上部工事(10工区)(不入岡高架橋P12-A2)(補助改良)	倉吉市 和田	日本橋梁(株)広島営業所 所長 齋藤 隆幸	167,769,000円 (予定価格) 214,368,000円	平成23年1月12日 ～ 平成23年10月30日	平成23年1月12日	制限付 一般競争入札 (13社)

【変更分】

							県土整備部
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
道路建設課 (八頭総合事務所 県土整備局)	国道482号改良工事(3工区)(補助改良)	八頭郡 若桜町 茗荷谷 ～ 淵見	国道482号改良工事(3工区)(補助改良)中一建設・竹内組特定建設工事共同企業体 代表者 中一建設(株) 代表取締役 中尾 仁	(当初契約額) 110,250,000円	平成22年3月29日 ～ 平成22年11月24日	(当初契約年月日) 平成22年3月29日	
				(第1回変更後契約額) 110,250,000円 (変更額) 0円	(変更後工期) 平成23年1月31日	(第1回変更契約年月日) 平成22年10月26日	
				(第2回変更後契約額) 115,338,300円 (変更額) 5,088,300円		(第2回変更契約年月日) 平成22年11月30日	
				(第3回変更後契約額) 115,690,050円 (変更額) 351,750円	(変更後工期) 平成23年2月28日	(第3回変更契約年月日) 平成23年1月24日	
				(第4回変更後契約額) 115,786,650円 (変更額) 96,600円		(第4回変更契約年月日) 平成23年2月28日	
道路建設課 (日野総合事務所 県土整備局)	国道482号下蚊屋工区道路改良工事(6工区)(交付金改良)	日野郡 江府町 下蚊屋	(株)かわばた 代表取締役 川端 雄勇	(当初契約額) 168,105,000円	平成22年3月9日 ～ 平成22年11月23日	(当初契約年月日) 平成22年3月9日	
				(第1回変更後契約額) 168,105,000円 (変更額) 0円	(変更後工期) 平成23年3月17日	(第1回変更契約年月日) 平成22年10月4日	
				(第2回変更後契約額) 188,095,950円 (変更額) 19,990,950円	(変更後工期) 平成23年3月25日	(第2回変更契約年月日) 平成23年2月2日	

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
道路建設課 〔日野総合事務所 県土整備局〕	国道482号下蚊屋工区道路改良 工事(5工区)(交付金改良)	日野郡 江府町 下蚊屋	(有)浜本組 代表取締役 浜本 伸介	(当初契約額) 168,630,000円	平成22年2月25日 ～ 平成22年11月11日	(当初契約年月日) 平成22年2月25日	
				(第1回変更後契約額) 166,874,400円 (変更額) 〔 △1,755,600円〕		(第1回変更契約年月日) 平成22年4月13日	
				(第2回変更後契約額) 166,874,400円 (変更額) 〔 0円〕	(変更後工期) 平成23年3月15日	(第2回変更契約年月日) 平成22年11月11日	
				(第3回変更後契約額) 147,570,150円 (変更額) 〔 △19,304,250円〕	(変更後工期) 平成23年3月25日	(第3回変更契約年月日) 平成23年2月2日	
道路建設課 〔日野総合事務所 県土整備局〕	奥日野及び奥日野2期広域農道 三国山トンネル(設備工)(交付金)	日野郡 日南町 豊栄	(有)齊木電気設備 代表取締役 齊木 健之	(当初契約額) 120,750,000円	平成22年7月1日 ～ 平成23年2月25日	(当初契約年月日) 平成22年7月1日	
				(第1回変更後契約額) 125,263,950円 (変更額) 〔 4,513,950円〕	(変更後工期) 平成23年3月25日	(第1回変更契約年月日) 平成23年2月25日	
河川課 〔東部総合事務所 県土整備局〕	塩見川広域河川改修工事(1工 区)	鳥取市 福部町 細川	(株)興洋工務店 代表取締役 葉狩 好彦	(当初契約額) 149,100,000円	平成22年10月4日 ～ 平成23年3月15日	(当初契約年月日) 平成22年10月1日	
				(第1回変更後契約額) 151,761,750円 (変更額) 〔 2,661,750円〕		(第1回変更契約年月日) 平成23年2月28日	
治山砂防課 〔八頭総合事務所 県土整備局〕	檜ヶ谷川砂防激甚災害対策特別 緊急工事	八頭郡 若桜町 高野	(株)興洋工務店 代表取締役 葉狩 好彦	(当初契約額) 110,775,000円	平成22年6月21日 ～ 平成23年2月15日	(当初契約年月日) 平成22年6月21日	
				(第1回変更後契約額) 110,775,000円 (変更額) 〔 0円〕	(変更後工期) 平成23年3月25日	(第1回変更契約年月日) 平成23年2月15日	